

## 第四十回古民家歴史部会歴史探訪

「横浜開港150周年海防三浦半島の歴史を探る」

原本 朗 起稿

平成21年6月<sup>4</sup>日(木) (集合京急浦賀駅改札前10時厳守)

「Ⅲ」浦賀の渡し・<sup>東</sup>葉神社・干鰯問屋跡コース

行程；浦賀駅→番所跡→浦賀の渡し→徳田屋敷跡→東葉神社→東林寺→東福寺→干鰯問屋跡→顕正寺→回船問屋跡→乗誓寺→バス移動又は徒歩浦賀駅。

### 三浦は温暖、風光明媚の景勝地

夏島式土器、諸磯式土器、平坂人骨、各地に散在する横穴式古墳、大和武尊走水伝説等、原<sup>平</sup>始から古代にかけて半島に生きる人々の足跡。奈良時代房総への道古東海道半島縦貫。平安末、鎌倉初期半島勢力三浦氏、三浦十人衆と呼ぶ水軍活躍。近世、半島の多くは江戸幕府天領又は、旗本知行地各地新田開発され、17世紀59ヶ村2万400余石。浦賀奉行所在地周辺繁栄、肥料用干鰯問屋街形成、近代日本の開幕を告げ、横須賀製鉄所建設、幕府崩壊後、明治政府は海軍増強、軍港として発展。戦後、米軍管理下油送関係の大工場進出、首都圏ベットタウン観光地、水産業基地として発展。

- 1・咸臨丸1860(万延元)1月19日浦賀出航・出航の碑愛宕山公園内にある  
目的；日米修好通商条約の推進交換の遺米使節に随行の為の渡米、5月5日帰国。300トン、蒸気内車船オランダで建造(安政4年1857)・96人乗り、長さ50m、幅7.3m、100馬力、3本マスト大砲12門・5月5日咸臨丸祭り。
- 2・番所跡(船の関所)  
武器・女人無断出国・生活出儒品(米・酒・油・炭・薪・綿類等)商品浦賀通過数は3ヶ月に一度。  
江戸勘定奉行に報告。舟改め実務浦賀回船問屋の人々・下田から移って来た下田問屋63軒・東浦賀20軒・西浦賀22軒総称して三方問屋。船の大きさに応じて石銭と問屋領を徴収した<sup>料</sup>(石銭、税金10石3文・問屋料、船乗り人数に対し、1人銀1匁8分)。石銭は城ヶ島等の篝火代金となり、問屋料は回船問屋手数料。
- 3・渡し船(海上280mを走る横須賀市道2073号線は珍しい)。愛宕丸  
明治11年(1878)、宮下町など17の町が共同で始めた、昭和18年浦賀が横須賀市と合併し、市営となった。同年24年民間委託方式、船は市所有。
- 4・徳田屋敷  
江戸時代～明治・大正期まで続いた割烹料亭旅館。嘉永6年(1853)ペリー来航の祭佐久間象山と吉田松陰協議。浮世絵師安藤広重・桂小五郎・文人など必ず宿泊したと言う。大正12年震災で倒壊。
- 5・東葉神社(干鰯問屋の町・祭神応神天皇・相殿保食命ウツハコト、すさのをのみこと・境内社巖島神社、東照宮、神明社・例祭9月15日第2日曜日・宝物社業林県指定天然記念物・背後明神山後北条氏浦賀城趾・勝海舟咸臨丸艦長任命航海安全祈願断食場所・境内社東照宮、天満宮、秋葉神社、武雄神社、浅間神社、稻荷社、船玉神社、金比羅神社、大島神社。巖島神社)  
文覚<sup>の</sup>上人創建と伝う。正保元年(1644)西葉神社を勧請して祀ったと言う。樹齢7百年ソテツ・一帯は小田原北条水運砦跡(浦賀城)。芭蕉句「よき々と帆ばしら寒き入江哉」・えにし坂碑(恵仁志坂)承応元年(1652)没<sup>禄</sup>・産霊坂碑・頂上61.5m。
- 6・東林寺(浄土宗・浦賀山立像院・本尊室町期銅造善光寺式阿弥陀三尊、胎中腹籠三尊仏、市文化財指定)  
開基は唱阿、創始は御柏原院の御代、大永3年(1523)専養良道を初世とする。安政3年(1856)類焼し、明治12年(1879)再建、関東大震災で全壊し、明治13年再興。中島三郎助父子の墓。  
大永3年(1523)僧良道開山。阿弥陀二十五菩薩来迎図(鎌倉期・市指定文化財)。浦賀奉行所与力、中島三郎助(49)と長男恒太郎(23)、次男英次郎(19)父子の墓・「ほととぎす我も血を吐く思いかな」三郎助辞世句。
- 7・専福寺(浄土宗・永昌山・本尊阿弥陀如来)  
永正元年(1504)槃譽久悦開基。俳人小林一茶(宝暦13年1763～文政10年1827)の旅日記文化年間(1804～18)恋心を抱いた「おひさ」の菩提を弔う為、この寺を訪れたと言う。江戸時代俳人福井貞斎の墓。

- 8・東耀の稻荷（屋根には大黒・恵比寿飾りの瓦）
- 9・干鯛問屋（干鯛を干して固めた物・綿・煙草・油菜栽培肥料・金肥と言われる）
- 10・顕正寺（日蓮宗金谷大明寺末・東曜山・本尊三宝緒尊及び祖師）  
開山は顕正坊日実で文禄元年（1592寂）。寛永年中（1624～43）に3世真如院日如が中興。中根東里の墓（陽明学者元禄7年1694～1765・72才）・西野前知の墓（歌人・幕末から明治）・松崎屋の墓（下田から浦賀に移住した回船問屋・松崎屋与兵衛一族）。陽明学者として有名な中根東里の墓。東里が晩年、姉の嫁ぎ先浦賀奉行所与力の合原氏のもとに身を寄せていた縁と言う。
- 10・回船問屋；菱垣回船問屋・樽回船問屋・等百軒軒を連ねた。
- 11・乗誓寺（浄土真宗京都西6条本願寺末・東教山阿弥陀院・本尊阿弥陀・寺宝十字名号親鸞真筆「帰命尽十万無礙が光如来=南無遍礼陀仏、6文字名号蓮如筆」）  
文明2年（1470年）室町時代創建。了源開基。了源は曾我十郎祐成の子（後に河津三郎信之）と言うが定かでない。干鯛問屋の墓多い。

陀仏



目次

浦賀一丁目  
浦賀二丁目  
浦賀三丁目  
浦賀四丁目  
浦賀五丁目  
浦賀六丁目  
浦賀七丁目  
浦賀八丁目  
浦賀九丁目  
浦賀十丁目  
浦賀十一丁目  
浦賀十二丁目  
浦賀十三丁目  
浦賀十四丁目  
浦賀十五丁目  
浦賀十六丁目  
浦賀十七丁目  
浦賀十八丁目  
浦賀十九丁目  
浦賀二十丁目  
浦賀二十一丁目  
浦賀二十二丁目  
浦賀二十三丁目  
浦賀二十四丁目  
浦賀二十五丁目  
浦賀二十六丁目  
浦賀二十七丁目  
浦賀二十八丁目  
浦賀二十九丁目  
浦賀三十丁目  
浦賀三十一丁目  
浦賀三十二丁目  
浦賀三十三丁目  
浦賀三十四丁目  
浦賀三十五丁目  
浦賀三十六丁目  
浦賀三十七丁目  
浦賀三十八丁目  
浦賀三十九丁目  
浦賀四十丁目  
浦賀四十一丁目  
浦賀四十二丁目  
浦賀四十三丁目  
浦賀四十四丁目  
浦賀四十五丁目  
浦賀四十六丁目  
浦賀四十七丁目  
浦賀四十八丁目  
浦賀四十九丁目  
浦賀五十丁目

吉

法善寺

真福寺

吉井貝塚  
怒田城跡

スクール  
わかみやだい

若宮台

(2) ラザリハイツ  
(3)

住重クラブ  
浦賀中  
浦賀小  
青少年の家

(5) 浦賀町  
コモンシティ浦賀

(6) 浦賀丘  
湘南うらが住宅地

(1) 配水池

(3) 光風台  
久里浜光風台住宅地

ライプステーション

南浦賀

(2) 浦賀病院  
浦賀署  
JA

三浦藤沢信金

浦賀文化センター

浦賀局

東福寺

高坂小

浦島稲荷

常福寺

(1) 浦賀駅

横浜  
平坂

(4) 浦賀署  
JA

(3) 西叶神社

金文堂

愛宕山公園

西浦賀町

にしろがちょう

(1) 浦賀一局

住友重機

(1) 住友重機体育館

八雲神社

津守稲荷神社

高知屋造船所

漁協

為朝神社

(2) 市営住宅

(2) 市営住宅

(1) 大ヶ谷

(2) 新町局

東林寺  
法幢寺

高知屋造船所

光洋小

サイカマート

(1) ケンコウ  
キムラ  
青少年の家  
エイビイ

市営住宅

(1) イイダ

(2) 東浦賀町

東浦賀町

高知屋造船所

光洋小

サイカマート

小原台小

湘南信金

(1) 山田口

(2) 岩波

田中歯科

光洋小

サイカマート

サイカマート

小原台小

湘南信金

(1) 山田口

(2) 岩波

田中歯科

光洋小

サイカマート

サイカマート

第40回行政刷新計画

西徳  
コミュ

上の台中  
能満寺

自衛隊官舎  
鶴居皮膚科

サイカマート

サイカマート

サイカマート